

このコーナーでは、都産技研の研究員をクローズアップしてご紹介します。研究員の人となり分かることで、より都産技研を身近に感じていただきたいという思いから生まれました。どんな人が都産技研にいるのか、ぜひご覧ください。

電気と温度の基盤を支えています!

今回ご紹介するのは、実証試験セクターと品質保証推進センターを兼務する佐々木 正史さんです。計測器の校正試験を行う佐々木さんは、ものづくりを支える縁の下の力持ち的存在です。

●主な仕事内容は?

電気計測器や温度計測器の校正試験を行い、お客さまの計測器の信頼性確保に努めています。この他にも、需要の高まっている熱物性について、Xeフラッシュアナライザーの機器利用ライセンス制度の事前講習会「熱拡散率測定」を実施しています。

●佐々木さんの大事にしていることは?

「やれることを確実にやる」をモットーにしています。私は、当たり前なことを当たり前にごこなせることが重要だと考えています。変に見栄を張り、できないことばかりに挑戦するよりも、まずは自分の成すべきことを精一杯やった上でこそ、その先に挑戦していけると考えています。

お問い合わせ 実証試験セクター<本部> TEL 03-5530-2193

Introduction



本部
実証試験セクター
兼 品質保証推進センター
副主任研究員
佐々木 正史

地味だけど、必要!

私の主な業務である計測器の校正試験は、都産技研の他の業務に比べて派手さには欠けるかもしれませんが、計測は、ものづくりには必要不可欠です。計測器の信頼性を今一度見直してみたいかがでしょうか。

TOPICS

トピックス

新任産学公コーディネータのご紹介

交流連携室では、中小企業の持つ課題やコア技術を大学や他企業と結びつけて価値を高める「産学公連携事業」を行っており、各技術分野の専門コーディネータが産学公連携に係わる相談・仲介などを行い、技術課題解決のための支援を行っています。

今年度から産学公コーディネータに新たな戦力が加わりましたのでご紹介します。

高村 悦夫コーディネータ

今年度から、木曜日の担当となりました。長年、産業機械・自動車部品メーカーで培ったノウハウと人脈をフルに生かして、皆さまのお役に立ちたいと思っています。環境に配慮した産業機械や自動車のシステム化、モジュール化のコンサルティングを得意としています。東京では、平成32年にオリンピックを控えており、本部のある青海にも、オリンピックの舞台として多くの人が訪れると予想されます。この青海に、産産連携や産学連携で誕生した環境にやさしい自動車を走らせることが私の夢の一つです。お困りのことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。お待ちしております。

お問い合わせ 交流連携室<本部> TEL 03-5530-2134



都産技研の研究員が行っている研究や開発が各分野から表彰されました。

実証試験セクター 研究員	中野 貴啓
城東支所 副主任研究員	松原 独歩
交流連携室 副主任研究員	島田 勝廣
東京農工大学大学院農学研究院	教授(受賞時)
東京農工大学 名誉教授(現在)	服部 順昭 様

受賞名 第64回 日本木材学会大会
優秀ポスター賞
発表題目 木材のボルト接合における締付け速度がトルク係数に及ぼす影響
表彰団体 一般社団法人 日本木材学会
大会運営委員会
内容 学会発表のポスター掲示が受賞対象となりました。
受賞日 平成26年3月15日(土)